



ごあいさし

「社会保障と税の一体改革」関連法が8月10日、参院本会議で可決、成立しました。

私どもは3党協議の中で、景気回復が確認されなければ増税ができないよう、「増税先行」に歯止めをかけてきました。「防災・減災」を柱とする景気対策や、将来への安定した社会保障も、実現への道筋をつけました。

これまで、増税先行で財政再建を成し遂げた国は、古今東西に例を見ません。だからこそ私は、かねてより一貫して「まず景気回復、そして財政再建」と訴えてきました。この私の主張は、今も、これからも、まったく揺るぎません。

そして今、問われるべきは、この3年間に於ける与党全体の大失政です。「増税の前にやるべきがある」——ならばなぜ、この3年間で、それを実行してこなかったのか。成長を犠牲にしたバラマキ政策、円高・デフレを放置するのみならず、この対策とは正反対の逆噴射政策……。景気・経済に無関心とも思える経済無策の責任を、どうとるか。国民の生活をないがしろにした内紛劇に、失望と怒りが広がっています。

「政治は結果」——これは私の信念です。社会保障と税の一体改革も、むしろ、これからの歯止めを実現させるため、「現場第二」で、全力で働いてまいります。さらなるご支援を、何とぞよろしくお願い申し上げます。

東京第12総支部長

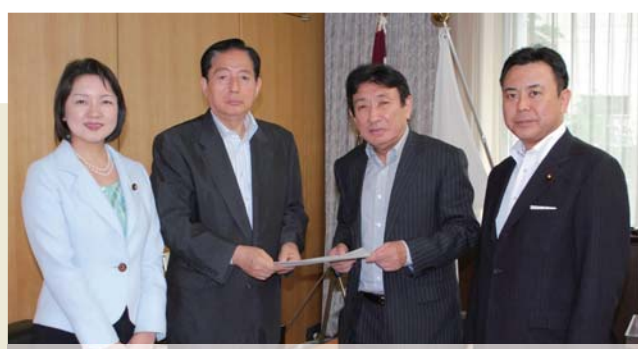
太田 昭宏

消費税増税の前にはやるべきことをやっていないのでは、という批判的な世論は当然だ。(3党にはある種の困難ともいえる日本の財政危機に対する認識があつて、批判を覚悟でやったわけだ。今、日本の状況は(財政危機を)乗り切らなければならないところに来ていることを、国民の皆さんもじわじわと理解を始めていると思う。だからこの3党体制は、いわば国難乗り切り体制という印象を受けた。自民党と公明党が協調体制を組んだことも、間違っていないかつたということが解る時が必ず来ると思っています。



政治ジャーナリスト 岩見 隆夫氏

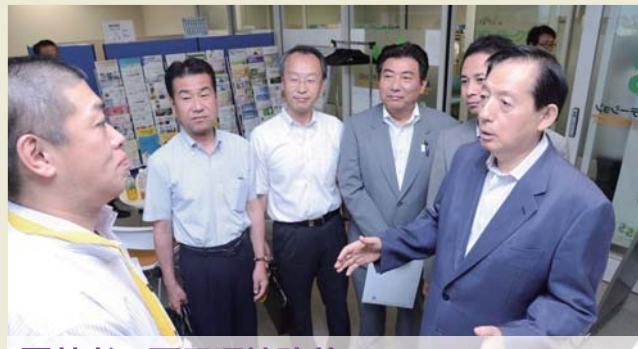
識者の声



■消防バイクの導入促す
初期消火等に効果を発揮する消防バイクの導入を久保信保消防庁長官に申し入れ。同庁は消防バイクの活用状況に関する実態調査結果を全国の消防本部に通知(6月13日)



■UR分割・民営化反対
独立行政法人都市再生機構(UR)の分割・民営化に反対する署名簿を、北区の関係自治会長らと共に竹歳誠内閣官房副長官へ手渡し、「居住の安定を崩すな」と強調(7月11日)



■若者の雇用環境改善
足立区の「あだち若者サポートステーション」を視察し、厳しさが続く若者の雇用環境改善に向けて、「サービス業も含めた対策が必要」と意見交換(7月17日)



この夏も太田は、「現場」

を走り抜きました。



■岩淵・芝川水門の耐震化
首都直下地震で決壊した場合に北区・足立区等で甚大な被害が予想される水門を視察。宿利正国土交通省事務次官に、耐震補強の前倒し実施を申し入れ(6月1日)



■石神井川の水害対策
北区・堀船など石神井川の水害対策を、2004年10月の本会議、05年9月の衆院予算委等で要望。この解決に大きく寄与する「白子川地下調節池」の工事を視察(6月29日)



■介護現場の課題解決
足立区介護サービス事業者連絡部会の代表者と共に、小宮山洋子厚労相に対して、「サービス提供責任者」の評価改善など介護事業現場での課題解決を申し入れ(7月13日)



■地域を結ぶ諸行事へ
防災訓練、夏祭り、納涼祭、伝統の催し、盆踊り、どじょうつかみ大会、商店街のイベント、シニア野球等々に足を運び、地域の皆さまから現場の貴重なお声を伺う(7月~8月)